

りつぶる

エスコープ大阪機関紙

第191号

11
18. .19

Contents

表紙

- ・組合員、生産者、ワーカーズ・コレクティブ、職員が一丸となって!

P3

- ・活動報告「おだやかな革命」自主上映会／9月豚肉利用推進月間「ベーコン作り」／「みえぎょれん販売のかつお節工場」の見学
- ・組合員紹介・W.Co紹介

P4

- ・大きく育て福祉の樹「エッコロ制度」
- ・エッコロ給付状況報告
- ・予育てひろば案内・理事会報告
- ・おたよりネット・編集後記

組合員、生産者、ワーカーズ・コレクティブ、職員が一丸となって!

今から34年前、1984年の総代会で「組合員の暮らしに添える生協を、地域独自の構想によるストックポイントづくりで実現させよう! その担い手として組合員自らが登場し、自主管理を目指していこう」という方針のもと、各地域で「自分たちが欲しいストックポイント」のあり方を議論しました。その結果、生協をより活用できる自主事業が各地域ごとにスタートしました。

店舗「城山台Do」もストックポイント活動のひとつとして生まれたもので、今秋店内をリニューアルするとともに組合員ワーカーズに運営を委託することになりました。

(書き手:店舗事業担当常務理事 桐田 剛至)



店舗城山台Doスタッフ一同
前列中央がワーカーズ・コレクティブ「WITH」の代表理事、田中純子さん

エスコープ大阪で 唯一の店舗です

ストックポイント活動として、店舗の「Do」「りき」「あおば」「サン」、班ぐや姫、個人配達の「さつき野」という7つの個性的なストックポイントが開設されました。その第1号と

して1985年に開設されたのがストックポイント「光明池Do」(和泉市伏屋町)で、野菜や日配生鮮品の簡易店舗としてスタートしました。その後、地域の自主事業から職員管理の事業として運営主体を変え、2008年には城山台近隣センターへ移転して現在の店舗「城山台Do」(以下、Do)(堺市南区)となりました。

移転10周年を迎えた今年8月、大幅なリニューアル工事を実施し、冷凍・冷蔵庫、陳列棚などを新しく導入。床を張替え、レイアウトを大きく変更して組合員とのコミュニケーションの場となるよう試食キッチンを設置しました。今後は組合員同士や生産者と交流ができるスペースとしてどんどん活用していきたいと考えています。

年9月21日より生まれ変わったDoの運営を開始しています。



新たなスタートで 心機一転がんばります

職員が管理を担っていた店舗事業の運営を組合員へ戻す方法を検討し、すすめてきました。具体的には、店舗地域委員会を設立し、店舗事業の運営をワーカー

単なる店舗機能だけではない 取り組みを目指して

高齢化がすすむ地域にとって「必要不可欠な生協の店」であり続けられるように、WITHの個人配達業務の経験を生かし、店舗を拠点にした配達サービスなどをすすめることができないかと、店舗地域委員会と定期的に協議の場を持っています。また、これまで以上に店舗組合員の意見を積極的に吸い上げ、店舗運営に生かしていきたいと考えています。ストックポイント活動から続いているDoは、組合員が運営し利用するお店です。店員とお客様の関係として「いらっしゃいました」ではなく、組合員同士の「こんにちは」「何か

ズ・コレクティブ(以下、ワーカーズ)に委託することです。エスコープ大阪で最初に生まれたワーカーズは、前記のストックポイント活動を市民事業化し、生協の個人配達をおこなう団体でした。今回委託を受けてDoを運営するのは堺市でエスコープ大阪の個人配達をおこなっている「ワーカーズ・コレクティブWITH」(以下、WITH)で、1996年に設立され今年で22年になります。20代から60代までの明るく元気な女性スタッフ15名で組織されています。個人配達業務で培った経験と元気いっぱいの笑顔でDoを盛り上げていきたいです!!

大きな夢に向かって、組合員がたくさんの集い、消費材のことや、地域のことなどさまざまな話が飛び交い、情報交換の場となる店舗にしていきたいと考えています。まずは交流の場として「試食キッチン」を使って、試食会はもちろん生産者との交流会などもおこなうことを目指します。まだまだスタートしたばかりで日常業務をこなすことでは必死ですが、今後は宅配サービスや移動店舗などの取り組みも検討していくたいと思います。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

大きな夢を持つ さまざまな取り組みに挑戦!

提案はありませんか」と言い合える関係を目指しています。

エスコープ
大阪のお店

店舗「城山台Do」

カタログに載っている消費材を中心に店舗独自品も取り扱っています。いろいろなイベントもあります。ぜひご来店ください。

●場所: 堀市南区城山台2-2-9
(城山台近隣センター)

●営業時間: 月~金・祝日/11:00~19:00
土・日/11:00~18:00

※年始のみ休み。

※ご利用の際は組合員証を提示してください。

ワーカーズ・コレクティブWITH
代表理事 田中 純子

宅老所よりあい訪問報告

訪問先



①宅老所よりあい
認知症対応型通所介護
福岡市中央区地行1-15-14



②第2宅老所よりあい
認知症対応型通所介護
福岡市南区桧原2-23-14



③特別養護老人ホーム
よりあいの森
地域密着型介護老人福祉施設
福岡市城南区別府7丁目9-21

昨年度、エスコーポー大阪では第6次中期計画を策定し、終の棲家や地域拠点づくりを検討することになりました。そこで、これまでのエスコープ大阪の福祉活動や事業をふり返るために、8月28日(火)・29日(水)の2日間、エスコーポー大阪の福祉を考えるときの手本となつた、福岡市にある「社会福祉法人 福岡ひかり福祉会」が運営する「宅老所よりあい」(以下、よりあい)と他2施設を訪問しました。理事、エスコーポー大阪サポートセンター職員、たすけあい事業推進フロアーである福祉ワーカーズ・コレクティブからも参加を募り、計8名で訪ねました。

当たり前にできる生活を

閑静な住宅街にあるよりあい(認知症対応型通所介護)では、利用者も、スタッフもみんなくつろいだ雰囲気で、ゆったりした時間が流れています。

よりあいでは、「当たり前の願いや、日常自宅の生活でしてじらしができるように支援する」という設立当初からの理念が、27年経った今も引き継がれていて、日課が決まっていません。スタッフのスキルもそれぞれ違うし、利用者の体調も日々違うので、その日の朝にスタッフが利用者本人と相談して決めるという方法をとっています。よりあいでは「温かい家庭料理が食べられる」「何もしたくなかったら何もしない」「トイレも自分のリズムで行く」というのは当たり前のことですが、一般的な施設ではそういうはいきません。また、認知症特有の症状として利用者が徘徊しきな時はスタッフと一緒にドライブに行くなど個別に対応し、何事も利用者ファーストでした。



よりあいで働くスタッフと意見交換しました

高齢で地域開催の茶話会に行けなくなつた人のために、送迎付きで月1回よりあいの森で茶話会をおこなっています。近隣の人を招いての祭りやマルシェも開催し、日頃から地域の人が顔を合わせる場所を提供しています。地域の人からは「何かあってもよりあいが助けてくれる。よりあいがあつて良かった」と言っています。



よりあいの森に隣接する
地域交流スペース

訪問してこれから

介護保険制度は利用者個々の状態に対応できる制度となつておらず、軽度の方には身体機能の向上をすすめています。しかし、年を重ねると機能が低下するのは自然なことで、低下を遅らせることができません。かといって事業を継続させることは、国の制度に沿つていかなければなりません。

この訪問をもとに、エスコーポー大阪の福祉をどうしていくのかをこれから考えていきます。よりあいの代表の村瀬さんが「これから福祉を考えると、協同組合という形がいいのかも」と言わっていました。私たちには、地域住民だけでなく、多くの組合員がいます。ぜひ、エスコーポー大阪全員でエスコーポー大阪らしい福祉をすすめていきたいと思います。

よりあいでは、在宅を基本とした支援をおこなつていて、本人と家族だけでなく地域も含めたり暮らし全体をサポートしています。常に地域の人にも目を向け、困ったの声に対応しているそうです。

在宅で認知症介護を継続するには家族の休息も必要です。家族からSOSがあれば介護

エスコーポー大阪の福祉のあゆみ

1970年	泉北生活協同組合(現・生活協同組合HSC)設立
1984年	大型班「25人班」専任当番の登場
1986年	地域の拠点づくり開始 店、市、生鮮便、個人配達6カ所
1994年	個人配達ワーカーズ・コレクティブ、并用組合員の有志による、たすけあい「ネットワークゆう」誕生
1995年	阪神淡路大震災 当・総菜企業組合「エル25」誕生
1996年	救援ボランティア活動に取り組む「福祉元年」と位置づけ 福祉出前習習会を開催し、福祉ワーカーズ・コレクティブ設立準備会を立ち上げる
1997年	阪神淡路大震災 ヘルパー養成講座開講、福祉ワーカーズ・コレクティブ誕生
1999年	福祉ワーカーズ「はんど」がミニ「デイサービス開始 「よりあい金剛」(富田林市寺池台)誕生
2000年	介護保険事業居宅・訪問介護サービス事業所「エスコーポー大阪サポートセンター(SOS)泉北金剛」開所
2001年	エスコーポー大阪福祉事業として介護保険対応デイサービス施設「よりあい金剛」(富田林市寺池台)開所
2003年	「よりあい金剛」は富田林市久野喜台へ移転 SOS泉北が障がい者支援サービス開始
2004年	「SOS河内長野」開所 組合員交流施設「風来里(ふらり)」開室
2005年	障がい者のデイサービス施設「ピースハーフ西」(堺市開所)
2006年	「SOS和泉・岸和田」開所(2007年8月閉所)
2008年	障がい者のデイサービス施設「ピース光明池」開所
2009年	障がい児の放課後等デイサービス施設「アリーンピースハーフ」(堺市茶山台)開所
2010年	子育てひろば開設
2011年	ピース相談支援センター(堺市茶山台)開所(2016年3月閉所)
2012年	「生活クラブ共済ハグくみ」開始
2015年	「エッコロ制度」開始 「エッコロサービス」「よりあい金剛」の運営をNPO法人「ワーカーズ・コレクティブはんど」に移管
2017年	



第5回 理事会報告 <10月3日>

【8月度決算報告】

- 供給高 1億7,522万円(前年同月比107.2%)
- 組合員数 19,471名(前月比43)
- 一人あたりの出資金 78,706円

【9月の放射能検査結果】

9月は連合消費材706検体、エスコープ大阪独自の消費材9検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①大阪府最低賃金の引き上げに伴う「嘱託パート職員 賃金規程」の変更について
- ②地域拠点運営規則

【協議事項】

- ①2018年上期活動まとめ(全体)
- ②1月地場野菜取り組みの次年度計画への延期
- ③3月遺伝子組み換え反対運動推進月間の地域取り組み消費材と生産者の決定とスケジュールの修正
- ④店舗消費材の品揃え提案(エスコープ大阪独自取扱消費材)
- ⑤3R全国ネット「3R環境教育教材」の購入
- ⑥拠点づくりの具体的な進め方
- ⑦2018年リフレッシュツアーまとめ
- ⑧エスコープまつり2018(地域推薦の関連団体出店について等)



エスコープ制度 10月度報告

加入者数 1318名

組合員活動を支えるためのケア	0件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	3件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	18件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時

12月12日(水)10~12時	SAYAKAホール (河内長野・大阪狭山地域)
12月は休み	さつき野東集会所(南河内地域)
10月5日(水)10~12時	岬町望海坂第1集会所(泉州地域)
10月11日(火)10~12時	和泉市コミュニティセンター (泉州地域)
10月4日(火)10~12時	堺市立青少年の家(泉北NT地域)

*開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK
*組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

編集後記

収穫の秋も駆け足にすぎ、もう年末がそこまで迫っています。2018年は大きな自然災害が多く発生し、私たちの生活に大きな影響を与えました。映画「おだやかな革命」の中にもありました、自然と向き合い、人と向き合い、地域と向き合いながら、これから暮らしを作っていく姿を見ると、エスコープ大阪という地域に根差した生協の中で地域再生や電源開発、災害対策など、より地域と結びついた活動をすすめなければ感じました。(K)

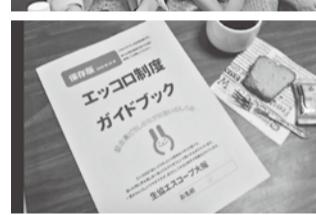
「大きく育て福祉の樹」では、エスコープ大阪の「たすけあい」のしくみ等について紹介しています。今回は、組合員同士のたすけあいのしくみ「エッコロ制度」についてお伝えします。

「ちょっとお願ひ」、 「はい、どうぞ」と言い合える セーフティネット



エッコロ制度は組合員同士のたすけあいのしくみとして2015年10月にスタートし、3年が経ちました。10月20日現在の加入者数は1,318名、加入率は全組合員の約1割にとどまっています。エッコロ制度を利用したケアはこれまで195件おこなわれましたが、まだまだ十分に活用されているとはいえない状況です。

「エッコロ制度は子どものいたわ」と、組合員の方から聞いたことがあります。しかし、実際は「高齢の加入者(65歳以上)をサポートするケア」が一番利用されています。内容は、庭の草取り、粗大ごみの移動、買い物の付き添い、すだれの取り付けなどです。次に多いのは「入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア」で、病院の付き添いや、弁当を買って届けたなど、年齢に関らず利用されています。「こんなこと



城山台で開催されたおうちエッコロカフェ

組合員で集まってエッコロ制度について話す「おうちエッコロカフェ」では、「こんなことがあつたけれど、エッコロケアを利用してきたかな?」「声をかけてくれたら、手伝いに行つたのに…」というようなやり取りがあります。「今度何があつたらお願ひね」と参考加者同士で連絡先を交換されたりしていられたりしていります。「こんなこと

おたよりネット



190号3面「私たちのエネルギーを考える!」 を読んで

紙面モニター Aさん

以前は、電気料金について無頓着な私でした(省エネの意識はもっていましたが…。「生活クラブでんき」に加入し、いろいろな情報がわかるようになって、とても勉強になっています。関西電力の料金改定の内情の矛盾を腹立たしく思いながら、これから「生活クラブでんき」独自の公正な料金体系の確立を期待します。

「生産者とすすめるせっけん運動」

伊藤真理子さん(河内長野・大阪狭山地域)

子どもの誕生を機に『粒状せっけん』を利用するようになり3年目です。2年ほど前、千葉に住んでいた頃に幕張メッセでおこなわれた虹色フェスタ(大試食会)に参加した際に「エスケー石鹼株」のブースがあり、生産者からお話を聞きました。せっけんの残りカスに困っていた私にアドバイスしていただき、いろいろと話すうちに消費材に対する思いが伝わってきました。洗濯の水が川を流れ、海に辿り着き、そこで育った魚を私たちが口にする。そう考えた時「香り」や「白さ」はそんなに重要なの?と思います。

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

消費材の苦情についてはこの用紙ではなく、電話またはメモで、この欄への投稿・ご意見は紙面で紹介することができます。

理事会事務局行き
191号(2018.11.19)

●お名前

●組合員コード

●班名